



JUNBA 理事会(第 155 回)議事要旨

日時: 2021 年 10 月 28 日(木)15:00-15:45

場所: JSPS サンフランシスコ研究連絡センター内会議室(オンライン)

参加者(敬称略):

名古屋大(神山、岡田)、大阪大(North、東澤)、奈良先端科学技術大学院大(三宅)、鹿児島大(江木)、Institute of Quantum BioFrontiers(千田)、在サンフランシスコ日本国総領事館(黒川)、事務局(田宮、太田、岡田)

1. 第 154 回 JUNBA 理事会議事要旨承認【資料 1】

事務局より、前回の JUNBA 理事会の議事要旨について報告があり、承認された。

2. 議事

【審議事項】

(1) JUNBA 新規正会員の入会承認【資料 2~3】

東京工業大が 2021 年 10 月 1 日に JSPS サンフランシスコ研究連絡センター内に海外拠点「Tokyo Tech ANNEX Berkeley」を開設したことに伴い、JUNBA 正会員への新規入会申し込みがあった。資料 2、3 にもとづき事務局から概要説明があった後、参加した全理事の賛成により、本件は承認された。

理事会終了後、事務局から先方に入会承認の連絡、JUNBA ウェブサイトへの情報掲載の承諾、理事会へのオブザーバー参加の打診を行うことになった。

(2) 第二回 JUNBA 勉強会【資料 4~5】

(進捗の共有、講師・内容の確定、参加申込フォームの確認)

第二回勉強会の準備の進捗状況について三宅理事より説明があった。各パネリストの大学では、コロナ禍でどのように国際化を維持してきたか(今後の展望を含む)、またそれをサポートするためのプログラムについて、発表してもらうことになった。一人あたり 20 分×3 名(計 60 分)で依頼することになった。

勉強会の参加者に発表資料を事前送付するため、資料は 11 月の中旬頃までにパネリストから事務局に提出する方向で準備を進めている旨報告があった。

10 月 29 日(金)に会長、担当大、事務局で打ち合わせを行い、そこで本勉強会の表題、プログラムの時間配分等の詳細を検討、確定することとし、これらについては次回の理事会で事後承認することになった。

続いて資料 4 にもとづき、参加者の登録用フォームについて、事務局から説明があった。記載されている時間に一部誤りがあったため、修正することになった。また、締切直前に申し込む参加者を想定し、申込期限を少し後ろ倒すことになった。今後の広報活動の参考とするため、質問の中に「どのように本イベントを知ったか」という旨の項目も追加することになった。

最後に、資料 5 にもとづき事務局から勉強会スケジュールについて説明があった。引き続き奈良先端大と桜美林大は、パネリストとの調整や勉強会の中身について準備を進めることが確認された。事務局は、必要な情報が揃い次第、近日中に国立大学協会や JUNBA 会員等に開催通知を発出することになった。

【 報告事項 】

(1) 各拠点の令和 3 年度の活動計画【資料 6】

資料 6 にもとづき、更新のあった名古屋大、JSPS からそれぞれ説明があった。

(2) その他

来月から米国が冬時間に切り替わることに伴い、理事会の時間も変更になる点が再度確認された。11 月以降の理事会は第 4 木曜日の 16 時～(西海岸時間)、19 時～(東海岸時間)、金曜の 9 時～(日本時間)。ただし、11 月のみ第 4 木曜日は Thanks Giving Day と重なるため、11 月 18 日(日本は 19 日)に開催する。

《 配布資料 》

【資料 1】第 154 回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料 2】JUNBA 正会員 入会申込書(東京工業大記入済)

【資料 3】Tokyo Tech ANNEX Berkeley ウェブサイト

【資料 4】参加申込フォーム(Google Form)

【資料 5】JUNBA2021 勉強会スケジュール

【資料 6】2021 年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会:11 月 18 日(木)16 時～(PST)、19 日(金)9 時～(JST)